

地域社会への約束

東日本大震災からの復興支援

甚大な被害を受けた東北の復興を支援するために、行政や他企業とも連携し、東北の食品の販売など事業を通じた復興支援策に取り組んでいます。

東北かけはしプロジェクト

セブン&アイHLDGS.は福島県、宮城県、岩手県などの東北各県と協力し、東日本大震災で被災した企業や大手メーカーと連携した復興支援企画「東北かけはしプロジェクト」を2011年11月から実施しています。2016年10月（第16期）には協賛・参加各社257社、1,900アイテムまで規模を拡大しました。

イトーヨーカドーをはじめ、グループ各社※の店舗で東北の商品を販売するほか、各県の知事にもご参加いただくなど、行政と一体となったイベントを実施。被災地への思いを風化させないよう、年2~3回キャンペーンとして大きく打ち出すことで、東北の農業、水産業などの復興を支援しています。

※イトーヨーカ堂、ヨークベニマル、ヨークマート、シェルガーデン、セブン&アイ・ネットメディアの5社



従業員のボランティア活動

セブン&アイHLDGS.では、一般財団法人セブン-イレブン記念財団が活動している「東日本大震災復興プロジェクト」に参加し、甚大な被害を受けた地域での復興支援活動を継続しています。

2012年9月から、セブン-イレブン加盟店オーナーや本部社員、セブン&アイHLDGS.のグループ社員合計100名のボランティアが宮城県気仙沼市唐桑町の「唐桑（からくわ）創生村」で、養殖作業に必要な種ガキの挟み込み、養殖仕掛けのピン通し、養殖用のロープ準備、といった漁師の方が日頃行っている作業をお手伝いしました。



牡蠣の養殖業をお手伝い